

1. 日時：令和元年 12 月 17 日（火）14:00～17:00
2. 場所：徳島大学理工学部理工学科社会基盤デザインコース建設棟 3 階 303 室&共通講義棟 2 階 204 室
3. 出席予定者：橋本，塚越，吉田，横手，森澤，渡部，新居，森本，牛尾，石井，堀井，岸本，高橋，横井，中川，氏家，金滝，荻田，田中，栗栖（20 名）（オブザーバー）山田，新田，古田（3 名）
4. 配布資料
 - 5-0：議事次第
 - 5-1：前回議事録案（塚越）
 - 5-2：四国地区における銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの施工に関するガイドライン改訂（案）（中川）
 - 5-3-1：CORROSION CURRENT DENSITY OF MACROCELL OF HORIZONTAL STEEL BARS IN REINFORCED CONCRETE COLUMN SPECIMEN と EFFECTS OF BLEEDING ON THE CORROSION OF HORIZONTAL STEEL BARS IN REINFORCED CONCRETE COLUMN SPECIMENS（愛媛大学，氏家・河合）
 - 5-5-2 各種スラグ骨材を用いたハイポリウムフライアッシュ重量コンクリートに関する実験的研究と銅スラグ細骨材とマンガンスラグ粗骨材およびフライアッシュを使用した重量コンクリートのフレッシュ性状および耐摩耗性の検討（高知高専，横井・福岡大学，山田）
 - 5-3-3：モルタルにおける銅スラグとフライアッシュの利用法（阿南高専，堀井）
 - 5-3-4：スラグ細骨材を使用したコンクリートの普及に向けた検討 その 1～その 3（岸本）
 - 5-3-5：外壁面側より漏水した地下 RC 部材を模した透水性能の異なるモルタル中の鉄筋腐食性状（福岡大学，塚越・山田）
 - 5-3-6：すり減り抵抗に関する研究（徳島大学，橋本）
 - 5-4：CUS コンクリート 2 次アンケート実施報告（案）（塚越）
 - 5-5：2019 年度会計報告（案）（塚越）
 - 5-6：令和元年度 生セミナー in 徳島
5. 議事
 - 1) 配布資料の確認および委員長挨拶
橋本委員長より改めて本委員会の趣旨について説明があり，本年度内報告書およびガイドラインの作成と，次年度行う報告会の準備に向けて引き続きご協力頂きたい旨の挨拶があった。
 - 2) オブザーバー挨拶
第 5 回委員会より新たにオブザーバーとして出席された，山田氏（福岡大学）より簡単な自己紹介があった。
 - 3) 前回議事録案の確認
塚越幹事長より，資料 5-1 の 43 回委員会議事録（案）が通読された後，承認された。
 - 4) 審議事項
 - 4-1) 四国地区における銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの施工に関するガイドライン改訂（案）
中川委員より，資料 5-2 を用いて，ガイドラインの改定に関して説明があった。
 - 4-2) 大学・高専における CUS に関する調査・研究の進捗状況（各委員）
 - 4-2-1) CUS を混和したコンクリートのブリーディングの発生が高さ毎での鉄筋腐食に及ぼす影響
愛媛大学グループの研究内容について氏家委員より資料 5-3-1 を用いて説明があった。
 - 4-2-2) 消波ブロック用コンクリートへの CUS のほかマンガンスラグ骨材の併用の可能性
高知高専での研究について，横井委員より資料 5-3-2 を用いて説明があった。
 - 4-2-3) CUS と，陸砂・砕砂，フライアッシュの混合割合が実積率とフレッシュ・硬化性状に及ぼす影響
阿南高専での研究として，堀井委員より資料 5-3-3 を用いて説明があった。
 - 4-2-4) 漏水した地下壁面を想定した，CUS コンクリート中の鉄筋腐食
福岡大学での研究として，塚越幹事長より資料 5-3-5 を用いて説明があった。
 - 4-2-5) CUS を 30，50，100%置換したコンクリートの施工性能および耐摩耗性
徳島大学での研究として，橋本委員長より資料 5-3-6 を用いて説明があった。
 - 5) CUS コンクリート 2 次アンケート実施報告（案）
2 次アンケート結果について，塚越幹事長より資料 5-4 を用いて説明があった。
 - 6) 2019 年度会計報告（案）
本委員会の予算と支出額について，塚越幹事長より資料 5-5 を用いて説明があり，承認された。